

城下まちづくり

通信



第10号

8月31日
上田市役所

上田市長へ住民要望書を提出

去る8月31日、増澤会長、中澤、西入副会長、高橋事務局長、宮下相談役の5名が市役所を訪問し、土屋陽一市長に「令和3年度城下まちづくり未来会議 要望書」を提出しました。

本年度は、要望項目を精査し、城下地域の広域的な課題 ①主要道路・水路の整備、②災害防止対策、③教育環境整備、④辺地対策に係る課題について要望対象としました。

増澤会長から訪問者を代表してあいさつ、西入副会長の内容説明の後、土屋市長、城下市民まちづくり推進部長、藤澤都市建設部長との意見交換を行いました。市長からは「城下まちづくり未来会議からの要望については、これまでに現地確認したことを踏まえ、真摯に受け止め検討をしたい」旨のコメントをいただきました。

上田市長への要望活動終了後、長野県上田建設事務所長を訪問し、同様の要望書を提出しました。

<要望書の概要>

城下地区環境建設協議会(会長西入直喜)において、当地区の9自治会長との打ち合わせ、現地調査・確認後、城下地区自治会連合会との協議を経てまとめました。

要望事項 (主なもの)

- | | |
|------------|---|
| ①主要道水路整備関連 | 県道上田塩川線、城下小学校通学路交差点の安全対策 |
| ②災害対策関連 | 千曲川災害復旧に係る今後の計画説明会の開催 |
| ③保育環境関連 | 城下保育園駐車スペースの確保について |
| ④辺地対策関連 | 須川地区雨水流入防止、農業用水路改修 |
| ⑤その他 | 千曲川水辺プラザのあり方検討、ハザードマップの周知、
城下地区の課題共有 |

※要望事項の詳細につきましては、ホームページに掲載してあります。



城下地区防犯防災協議会 防災倉庫視察研修

- ・日時 令和3年7月13日(火)
- ・視察先 神科地区防災倉庫
- ・参加者 城下まちづくり未来会議・城下地区防犯防災協議会役員

城下地区防犯防災協議会が主催し、神科地区の防災倉庫の視察研修を行いました。同施設は、神科まちづくり委員会が、コミュニティ助成事業により昨 year 11 月上野が丘公民館脇に設置、防災備品(11品目)を整備されました。

城下地域におきましては、特に一昨年の台風19号災害時における対応結果を踏まえると、防災備蓄庫の設置が重要な課題となっています。

当日は、神科まちづくり委員会の堀会長、塚原部会長様からお話や説明を賜り、防災倉庫、プライベートテントなど収納備品の見学をさせていただきました。大変参考となる有意義な研修となりました。

防災倉庫



ご教示いただきましたことを参考にし、現在策定を進めています「城下地区防災計画」の重点施策に位置づけ、国・県等の補助制度を活用し早期の実現に向け努力してまいります。



「城下あいさつ声かけ運動」

スローガン「あいさつで 明るい未来の まちづくり」の横断幕を三好町歩道橋に設置し、城下あいさつ・声かけ運動が7月1日(木)城下地区全域で行われました。

◆南小学校で行っているあいさつ運動の取り組みが、中之条自治会報に掲載されました。

南小では、児童会活動として、毎朝生活委員会や児童の皆さんが、校門前に立ってあいさつ運動を行っていることが紹介されています。そして、6年生児童の活動への思い、願いが次のように寄せられています。

「大きな声であいさつすると、元気に一日のスタートが切れます。笑顔であいさつができれば、南小が明るく元気な学校になります。学校から地域の人たちへあいさつの輪を広げ、地域も元気にしていけたらと思います。」

大人、子どもたちがお互いに「あいさつ」、「声かけ」を行い、城下地区の連帯感と絆を強め、明るく安全で住みよい地域づくりが着実に進んでいます。



四中前でおこなった「あいさつ運動」のようす